

2024年8月29日

下水道施設で発生する再生水と消化ガスを活用した e-メタン製造実証を開始

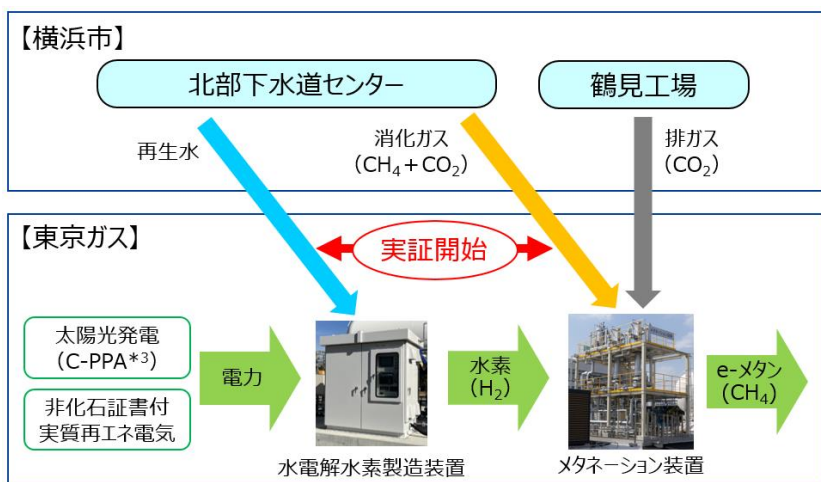
東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）は、このたび、2022 年 1 月に横浜市と締結した協定^{*1}に基づき、横浜市北部下水道センター（以下「北部下水道センター」）の再生水（下水処理した水をろ過した水）と消化ガス（下水汚泥を処理する工程で発生するバイオガスで、 CH_4 と CO_2 の混合ガス）を東京ガス横浜テクノステーションにあるメタネーション実証設備に輸送し、水素および e-methane（以下「e-メタン」）製造の原料として利用する共同実証（以下「本実証」）を開始しました。

東京ガスでは、2023 年 7 月より横浜市資源循環局鶴見工場（以下「鶴見工場」）の排ガスから分離・回収した CO_2 をメタネーションの原料として活用する CCU 共同実証^{*2}を推進してきました。今回、地域連携をさらに拡大し、北部下水道センターで発生する再生水や消化ガスもメタネーション実証設備に輸送し、それぞれ、水電解による水素製造用の原料水、および e-メタン製造用の原料 CO_2 として活用することで、将来のカーボンニュートラル化へ向け、より環境を重視した地域連携モデルとしての可能性・有効性を検証します。



北部下水道センターから受入れた再生水（左写真）と消化ガス（右写真）



横浜市との連携実証の概要



連携施設との立地関係

東京ガスグループは、経営ビジョン「Compass2030」において「CO₂ ネット・ゼロへの挑戦」を掲げています。本取り組みを通じて、メタネーションで生成される e-メタンや水素の地産地消モデルの構築を図り、カーボンニュートラル社会の実現を目指します。

- *1 : [横浜市と東京ガスがメタネーションの実証試験に向けた連携協定を締結（2022 年 1 月 18 日発表）](#)
- *2 : [ごみ焼却工場の排ガスからの CO₂ 回収とメタネーションへの利用実証の開始（2023 年 7 月 28 日発表）](#)
- *3 : [東京ガスグループにおけるオフサイトコーポレート PPA 小売供給事業の実施について（2023 年 5 月 30 日発表）](#)

以上